

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「元気な地域の「かたち」創造ワークショップ」
対象地域	岩手県北上市
対象地域の概要	【位置図・岩手県】 【位置図・北上市】 【東部中山間地域における農協空き店舗】
提案内容の概要	本事業は、「<u>中山間部での車が運転できなくても暮らせる生活基盤の確立</u>」と「<u>中心部の都市基盤を活用するための交通基盤</u>」の2つの観点から社会実験を行い、北上市のそれぞれのコミュニティが特色を持つ地域づくりを行いながら、市全体においても<u>持続的に発展</u>していくための基盤となる交通形態を提案することを目的とする。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	北上市は工業を中心とした企業誘致により、平成20年までは段階的に人口が増加しており、特に郊外部である新興住宅エリアにおいてその傾向は顕著である。一方、市内においても中山間地区においては人口が減少し、少子高齢化が課題になっている。実際、診療所の閉鎖、農協の閉鎖、小学校の統合など生活基盤の縮小も進んでいる。 昨年度、新たな公によるコミュニティ創生事業で実施した「元気な地域のかたち創造ワークショップ」では、各地区での持続可能な地域のかたち、住み続けられる地域のかたちを検討し、その中では現在の公共交通を補完する地域交通の必要性が各地域から導き出された。 一方、郊外エリアへの大型郊外店の進出により、中心市街地には空き店舗が目立ち、このままであれば都市機能を失う可能性がある。 このような状況においては、自動車中心の交通形体により、公共交通の更なる弱体化と車を運転できない場合における生活機能の著しい低下を招く結果となりがねない。 中山間部の人口減少 農協・診療所の閉鎖、バス廃止 コミュニティでの生活拠点機能の低下 …さらなる人口減少 市街地の拡散 空き店舗の増加 賑わいの低下 中心市街地での都市基盤機能の低下 …さらなる空洞化 各地域での特色ある地域づくりが困難 車がないと生活ができない都市構造 コミュニティの生活基盤を補完する交通 都市基盤を活用し、賑わいを生む交通 元気な地域の「かたち」づくりのための 地域内・地域間をつなぐ交通システム
(2) 活動内容の案	活動①：中心市街地の都市基盤活用のための補完的交通社会実験 中心市街地において、歩いて動けるまちづくりのためのまちなか点検を行い、その結果からまちなかの歩行者を増やし、賑わいを戻すための北上独自の方法を導き出し、社会実験を実施する。 ①まちなか点検 まちなかの歩行空間に関しての点検を行う。まちなかの住民の視点、周辺部からバスに乗ってきた場合の視点を2つの視点で中心市街地を点検し、にぎわいの創出、快適な歩行空間、各都市機能間の交通の3つのテーマ別の課題を検討する ②まちなか交通検討会（2回） まちなか点検を行った成果をもとに、まちなかの都市機能を結ぶ交通・歩行空間とにぎわい創出のための課題整理と解決に向けた方法の検討を行う。 ③まちなか交通社会実験 まちなか交通検討会で議論されたアイディアのもとに社会実験を実施する。（想定される社会実験：

	まちなか循環バス、レンタサイクル、トランジットモール、カートでの巡回輸送など) ④まちなか交通社会実験の検証・調査 まちなか交通社会実験での効果を検証し、住民が考えるまちなかの理想の交通システム・交通基盤を考える。
	活動②：コミュニティにおける車が運転できなくても暮らしていける交通基盤社会実験
	各コミュニティにより、住民の利用、参画、運営という参加形態による地域内、地域間交通に関する勉強会、ワークショップを開催するとともに、過疎地有償運送、乗り合いタクシー、コミュニティバスなどの補完的交通機関の社会実験を実施する ①公共交通勉強会（１０回開催） 北上市にある１６地区の自治組織を対象に、希望のある地区での公共交通に関する勉強会を実施する。内容は、現在の北上市における公共交通の現状の把握と、住民が公共交通・補完的交通へ参加している事例・制度の研究を行う。 ②地域の交通検討会（３地区×２回） 勉強会を行った地域の中で、より実践に向けた取り組みを希望した地区に対して、社会実験の方法を検討する地域の交通検討会を開催する。内容は、地域の交通資源の確認と、現状の課題整理、それに向けた解決策の検討を行う。 ③地域の交通社会実験（３地区） 勉強会を実施した地域を中心に北上市全体に会う公共交通の在り方を検討するための社会実験を行う。社会実験は以下のモデルの実践を行う。 ・過疎地有償運送における地域内交通機能、生活機能の効果検証（北上市東部地区） ・乗り合いタクシー活用に向けた提案型運行事業（北上市西部地区） ・その他、地域交通社会実験で検討された交通社会実験モデル ④社会実験の検証 それぞれの社会実験の成果を検証し、各地域における理想の公共交通についての検討を行うとともに、継続的な実施にむけた具体的な方策を検討する。
	活動③：元気な地域の「交通のかたち」の提言 ①アドバイザー会議の開催（３回） それぞれのワークショップ、社会実験の内容をもとに、北上市全体での望ましい交通形体に関する検討を行う。 ②元気な地域の「交通のかたち」フォーラムの開催 社会実験の内容をもとに、元気な地域のかたちづくりのための交通のかたちを市民に提案するフォーラムを開催する。
応募団体名	特定非営利活動法人 いわてNPO-NETサポート
リンク	ー
部局／担当者名	事務局 菊池 広人 (hirotok@kitakamicity.com)
連絡先	〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ3階 電話：0197-61-5035
推薦市町村名	岩手県北上市